



認定デイ・ケアマスターの声

Master's Voice

赤間 優 (理学療法士)

医療法人溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院



北海道札幌市に2017年に設立した回復期病院併設の短時間デイケアで、管理運営業務とセラピスト(理学療法士)業務の兼務をしています。医療外来リハとデイケア合わせてPT・OT・ST合計10名でサービス提供を行っています。

私はデイケアの勤務としては14年目を迎えており、9年間で長時間デイ、5年間で短時間デイで勤務している状況です。認定デイ・ケアマスターを取得するきっかけとなったのは、新病院の短時間デイ立ち上げを任された事でした。新規事業ということで、今一度、現行の制度や時世の流れ、今後のデイケアの在り方について学ぶ良い機会になると思い資格取得を目指したのですが、自身の考えていた以上の成果を得ることができ、とても良い機会になったと思っています。

特に全国デイ・ケア協会主催の勉強会や大会等で、同じような立場のデイ・ケアマスターの方々とお会いすることもあり、その際の意見交換やグループワークが業務上大変役に立っている事が多いと感じています。また協会主催のスキルアップセミナーでも直接講師陣の方からアドバイスを得ら

れる機会もあり、デイ・ケアマスターの取得自体が、職務上大変役立つ結果になりました。

現在、私はデイケアのみではなく回復期病院の退院支援訪問チームと外来リハの管理も行っているようになっていますが、昨今診療報酬・介護報酬の改定の度に制度が複雑化していると感じており、両制度をより詳細に理解しなくてはならないと痛感しております。

当院は外来リハ・通所リハ・訪問リハ・訪問看護と在宅サービスが充足している施設であります。各サービスがどのように利点・欠点があり、利用者様に適しているのかを判断するのは、利用者様・ケアマネジャー・ソーシャルワーカー等のどのの方々にとっても、容易ではないと思われます。そのような中、利用者様の自立支援を促す為には、随時必要なサービスを調整する必要があります。その為にも自分自身がまず通所リハの機能・今後の在り方を熟知し、他サービスとの連動を考えられるように、今後も邁進していきたいと思っています。

